

# 実装部門（一般市杵）

「ライティング防災アラートシステム」及び  
「防災ポータルサイト」を活用・連携した  
確実な避難を実現するための取組

事例自治体：人吉市（情報政策課）

連携団体等：人吉温泉旅館組合、（一社）人吉温泉観光協会、  
人吉温泉女将の会「さくら会」、人吉ひかりの復興プロジェクト、  
人吉市スーパーシティ構想連携事業者／アーキテクト

# 取組み概要及び背景

## 概要

- 人吉市が、市民及び観光客に対して、「ライティング防災アラートシステム」及び「防災ポータルサイト」を活用・連携し、確実な避難を実現するための取組み。

## 背景

- 令和2年7月豪雨による球磨川の氾濫により、中心市街地を含む約5分の1以上の世帯が浸水するなど、甚大な被害を受けた。
- 災害後に、住民から「防災行政無線が聞こえなかった」等の避難情報に関する課題が多数挙げられた。

# 課題解決への具体的内容

## 事業内容

- 「ライティング防災アラートシステム」及び、「防災ポータルサイト」を実装・連携することで、早期避難を促すための防災・避難情報の伝達手段の多重化とわかりやすい情報発信を実現。

# 課題解決への具体的内容

## 「ライティング防災アラートシステム」について

- これまでの防災行政無線（音声）やエリアメール（文字情報）だけでなく、視覚情報により避難行動を促すシステム。  
⇒ 橋梁に水位センサーと連動した照明を設置し、河川の氾濫危険度を色の変化（白色、赤色、赤色点滅）により周知する。



# 課題解決への具体的内容

## 「防災ポータルサイト」について

- これまで国、県、市など複数のサイトにあった防災・災害情報（気象情報、河川監視カメラ、水位計など）を一元化し、利用者が使用しやすいよう、視覚的にわかりやすく整理したサイト。
- 防災行政無線の放送内容のテロップ表示や、「ライティング防災アラートシステム」とも連携し、スマートフォン等から確認できる機能等もある。

# 本取組みの主な特徴

## 防災×観光

- 「ライティング防災アラートシステム」では、緊急時の住民等の確実な避難を促すと同時に、平常時には灯りの効果を活用した滞在型観光誘客の促進を図る。（防災機能を観光振興に活用するシステムの設計・実装は全国に類を見ない初の取組み）

## APIの公開で幅広い活用を実現

- 「ライティング防災アラートシステム」で設置した水位計で取得する水位情報のAPIを公開することで、幅広いデータ活用を可能とした。

# 本取組みの主な特徴

## 適切なUIで誰もがわかりやすいサイト

- 「防災ポータルサイト」のUI（ユーザーインターフェース）について、これまで国、県、市など複数のサイトにあった防災・災害情報（気象情報、河川監視カメラ、水位計など）をとりまとめ、利用者が使用しやすいよう、視覚的に操作可能とするため、わかりやすく整理した。

## 災害の経験をデジタル技術で活かす

- 「ライティング防災アラートシステム」及び「防災ポータルサイト」は、令和2年7月豪雨災害時の経験をもとに構築した、まさにデジタルを活用した地域課題の解決を図る取組み。

# 今後の展開

## 取組みの反響

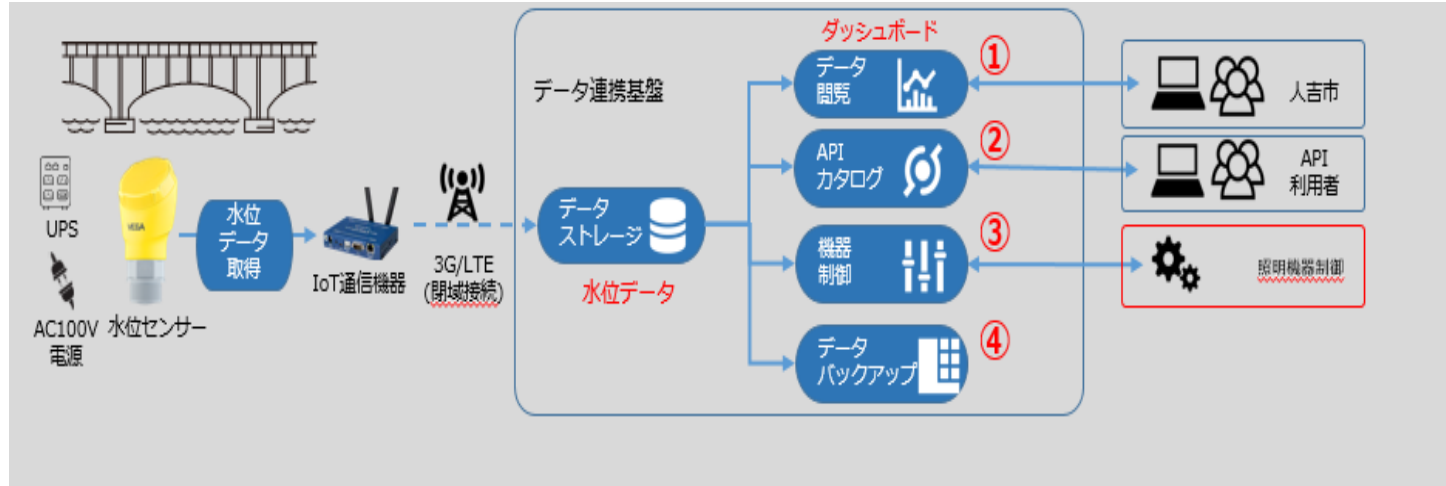
- 多数のメディアに取り上げられており、本取組みへの関心が市民にも広がっている。

## 今後の展開

- 「ライティング防災アラートシステム」を他の橋梁や照明施設へ展開させていきたい。
- 令和3年度に導入したデジタル地域通貨（KIJICO）で支払をし、数分間の観光色への変更機能追加検討。



「ライティング防災アラートシステム」及び「防災ポータルサイト」を活用・連携した確実な避難を実現するための取組」概要図



【システムのポイント】

- ①データ閲覧（オープンデータ）
- ② APIカタログ公開（官民連携プラットフォームHP）
- ③水位センサーのデータにより照明の色彩をコントロール（※遠隔で手動制御も可能）
- ④ 水位データは2年間保存（CSV形式）
- ⑤ 人吉市防災ポータルサイトとの連携



防災ポータルサイト